

# 議会だより

## -contents- 9月定例会

### ●今定例会の注目項目!!

決算概要&補正予算…P2~3

### ●ここが気になる!!

一般質問…P6~P9

・深いところまで徹底討論 各委員会…P10~18

・29年度決算監査報告…P19



第73回国民体育大会デモンストラショ  
ンスポーツキッズトライアスロン表彰式にて誇  
らし気な顔や悔しい顔をしている子ども  
たち。

## 平成29年度一般会計歳入歳出 決算を賛成多数で認定

TOPICS

平成29年度一般会計歳入歳出決算を慎重審議の結果、賛成多数で認定した。28年度より主な減額となったものは、新庁舎公民館の事業終了により、本体工事費2億4,494万円、中央体育館改修工事費18億4,684万円が減額となった。

### 【主な大型事業の支出】

- 町立保育所整備基金(3億8,102万円) ●町道柿ヶ渡線整備基金(4億4,100万円)
- 次世代施設園芸導入加速化支援事業補助金(8億123万円)
- 大西線延伸事業(1億8,289万円) ●和田公民館改築工事費(5億3,982万円)
- 福井国体高浜町実行委員会補助金(3億612万円)

財政健全化判断比率は、基準を下回っているが、前年度に比べ将来負担比率が(算定基準の変更)による、1.2%から9.9%と上がっており、今後とも注視したい。(井上順也)

### ●高浜町の健全化判断比率

区分	高浜町の健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	－%	15.0%
連結実質赤字比率	－%	20.0%
実質公債費比率	8.2%	25.0%
将来負担比率	9.9%	350.0%

※財政健全化判断比率…基準を超えると総務大臣に報告し、国の管理下で財政再建に取り組みなくてはならない。



和田公民館落成式

一般会計  
歳入総額 125億円  
歳出総額 118億円

## 安全安心な農業生産の一役を 荷う技術の導入を目指し!!

TOPICS

9月議会の全員協議会において、総合政策課からこれからのゴミ処理問題を検討するため、YM菌による超高温好気性発酵システムの説明を受けた。

### ●YM菌とは

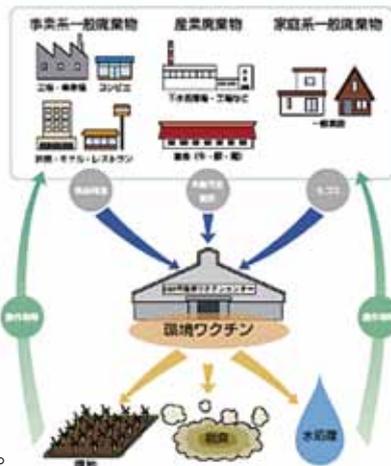
酵菌(YM菌)とは、株式会社山有(鹿児島県)が開発した菌で、鹿児島市の下水道汚泥の肥料化に使用している20年以上の実績のある安全性が確認されている超高温で発酵する好気性の菌のこと。

### ●YM菌の特徴

- ・YM菌による発酵温度は摂氏85度以上で発酵。
- ・発酵完了までが50日前後で、短期間で完熟堆肥が製造。
- ・悪臭を発する有機廃棄物をYM菌と混合すれば臭いが軽減。
- ・発酵設備はコの字型堆積槽で、運転経費も安価。
- ・発酵温度が高いため雑菌が死滅。

消臭剤として使用されたり、ごみ処理に使われたりするYM菌ですが、実はその他にもこんな効果が注目されている。

効果1：野菜をおいしくする。効果2：環境に優しい



超高温好気性発酵システムの導入に向けての検討を開始!

(西野朋宏)

## 高浜町もライフセービング競技で参加決定！

「ワールドマスターズゲームズ2021関西」大会が2021年5月14日から30日まで17日間開催される。この大会は、世界最大の生涯スポーツの国際総合競技大会であり概ね30歳以上であれば誰でも参加でき、4年ごとに開催される。

競技は、男女別、年代別で行い各年代別にメダルが授与される。

インターネットで申込み、参加料は現在未定であるが過去の大会では2万2千円から2万4千円である。公式競技35競技、オープン競技(大会の盛り上げと参加機会を増やすことを目的に実施する競技)17競技(H30.9.25現在)が行われる。高浜町のライフセービング競技は、公式競技で若狭和田ビーチにて開催される。

競技主催地として負担金拠出が必要で、福井県と高浜町とで折半して、公益財団法人ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会に納め、職員も県2名、町1名を派遣する。H30からH33の4年間の継続事業でH30の予算額は、536万7千円である。

ビーチの国際環境認証ブルーフラッグ取得との相乗効果で高浜町の集客と経済効果を大いに期待する。(釣本音次)



TOPICS

「ワールドマスターズゲームズ2021関西」大会アジアで初開催

## 平成30年度福井県原子力防災総合訓練開催！



避難訓練の様子

去る8月25日(土)・26日(日)、福井県は、内閣府、京都府、滋賀県及び関西広域連合をはじめ、各市町及び陸・海上自衛隊、海上保安庁並びに190機関の職員約4,300名、住民約7,500名の協力を得て、原子力防災総合訓練を実施した。

高浜町では、幅広い年齢層(5～80歳代)の住民、消防団、病院及び社会福祉協議

会から310名が県内又は県外への避難訓練を実施した。

また、高浜町の独自訓練として、民生委員による高齢者等への情報伝達、小学校児童等の引渡、住民広報、避難所運営及び放射線防護施設運転訓練等を行い、参加した町民1,524名が、その手順の確認を行った。

### 【今後の課題】

避難所運営について	避難住民自らが運営に関わりを持てるよう、引き続き、避難元・避難先市町が協力しながら、広域避難訓練を継続する必要がある。
自家用車での広域避難要領について	兵庫県への避難について、自家用車を一時保管場所「三木総合防災公園」に入ることへの住民説明が不十分であった。
安定ヨウ素剤の配布について	配布対応に当たる職員等の個別訓練や研修などを継続的实施し、手順の習熟度を高めていく必要がある。
その他	高浜町の広域避難先である宝塚市、三田市及び猪名川町と平時より観光や地域交流を高め、顔の見える関係を築く必要がある。

(西野朋宏)

TOPICS

原子力防災に係る住民避難訓練等の実施





## 9月定例会では以下の議案を慎重審議しました

	議案件名	審議した委員会	本会議採決結果	関連ページ
議案第48号	平成30年度高浜町一般会計補正予算（第2号）	予算決算	全員賛成で可決	P2、P3 P5、P10
議案第49号	平成30年度高浜町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	厚生文教	全員賛成で可決	P12
議案第50号	平成30年度高浜町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	厚生文教	全員賛成で可決	P12
議案第51号	平成30年度高浜町介護保険特別会計補正予算（第1号）	厚生文教	全員賛成で可決	P12
認定第1号	平成29年度高浜町一般会計歳入歳出決算認定	予算決算	賛成多数で認定	P5、P10 P11
認定第2号	平成29年度高浜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	厚生文教	全員賛成で認定	P5、P12
認定第3号	平成29年度高浜町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定	厚生文教	全員賛成で認定	P12
認定第4号	平成29年度高浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	厚生文教	全員賛成で認定	P5、P12
認定第5号	平成29年度高浜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定	厚生文教	全員賛成で認定	P12
認定第6号	平成29年度高浜町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定	総務産業	全員賛成で認定	P14
認定第7号	平成29年度高浜町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	総務産業	賛成多数で認定	P5、P14
認定第8号	平成29年度高浜町集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	総務産業	全員賛成で認定	P14
認定第9号	平成29年度高浜町宅地分譲事業特別会計歳入歳出決算認定	総務産業	全員賛成で認定	P14
認定第10号	平成29年度高浜町水道事業特別会計歳入歳出決算認定	総務産業	賛成多数で認定	P5、P14
議案第52号	高浜町営体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	厚生文教	全員賛成で可決	P12
同意第2号	教育委員会委員の任命	—	全員賛成で同意	—
請願第1号	所得税法第56条の廃止を求める意見書採択	総務産業	賛成少数で不採択	P5、P14
陳情第4号	地方財政の充実・強化を求める意見書採択	総務産業	全員賛成で採択	—
陳情第5号	地方公務員法及び地方自治法の一部改正における新たな一般職非常勤職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書採択	総務産業	賛成多数で趣旨採択	P5、P14
発委第1号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出	—	全員賛成で可決	—

採決一覧

質疑討論

一般質問

委員会報告

# 本会議での質疑・討論

## 質疑

議案第48号

井上順也議員

有機系廃棄物をY M菌により堆肥化を行うとあるが、どのように考えているのか

総合政策課長

下水の汚泥、大規模園芸の野菜残渣などをY M菌(高温発酵菌)で堆肥化し循環資源とする。今回、事業の実現可能性を調査する。

## 討論

議案第48号

賛成討論

釣本音次議員

JCH O高浜病院の人工透析などの関連機器の整備は、本来JCH Oが行なうべきだが町が何もしなくてJCH O高浜病院が弱体化すれば町も町民も困る。

町長がそのことを考慮し予算化されこの判断を高く評価する。

次に、7月の西日本豪雨による漂着物の撤去対応には問題がある。夏のシーズン中なのに砂浜の清掃が進まず改善すべき事がある。

## 討論

認定第1号

反対討論

渡邊 孝議員

歳入総額の約50%が原発関連財源で占められている原発頼みの財政である。また水産業の6次化事業には反対する。

賛成討論

山本富夫議員

地場産業の中核となる電力財源を安全性確保のもとに計り知れない好環境が確保できた。今後は、新たな産業構造の育成を含め町財政の安定化を図り緊張感をもって町運営実施を強く求める。

## 討論

認定第2号

賛成討論

渡邊 孝議員

賛成するが、国保の都道府県化は問題である。

## 討論

認定第4号

賛成討論

渡邊 孝議員

賛成するが、被保険者への保険税の償還に怠慢があったことについては厳しく反省を求める。

## 討論

認定第7号

反対討論

釣本音次議員

汐入1号2号雨水対策施設が完成したが、7月の西日本豪雨で、やはり冠水した。

運用も再三指摘してきたが、汐入川からあふれない雨水を貯水槽に貯めており、無駄な雨水が貯水槽に入り有効に運用されず改善もされない。

賛成討論

小幡憲仁議員

各事業は予算の趣旨に則り適正に実施され成果もあげており認定に賛成。

汐入貯水池も専門家の技術的な知見に基づき適正に運用されており何ら問題ない。

## 討論

認定第10号

反対討論

渡邊 孝議員

町民の、水道事業への加入金は「資本的収支」ではなく、「収益的収支」に入れるべきである。

賛成討論

小幡憲仁議員

水道加入金の経理処理が不適切との討論があったが、加入金を資本金の収入としても間違った経理処理とは言えず適正であり認定に賛成。

## 討論

請願第1号

賛成討論

小幡憲仁議員

所得税法56条は時代に合わず、申告方法の違いで課税格差が生じるのは法の下平等に反する恐れがある。廃止すべきであり請願に賛成。

賛成討論

渡邊 孝議員

白色申告や青色申告、法人申告といった申告形態に関わらず、家族一人ひとりの働き分は必要経費と認めるべきである。

## 討論

陳情第5号

反対討論

小幡憲仁議員

自治体で働く臨時・非常勤職員の処遇改善の機運の盛り上げが必要。

直ちに「採択」し意見書を上げるべき。趣旨採択との決定では不十分である。

賛成討論

渡邊 孝議員

「趣旨採択」に賛成する。  
陳情者が求める「短時間勤務職員制度の導入」は、臨時・非常勤職員の、正職員への道が閉ざされる。

※本件は、委員会決定した「趣旨採択」についての討論です。



磯部 武史 議員

## Q 6次化は1次2次3次産業の掛け算。計画は足し算ではないか

A 1次2次3次の連携による6次化に取り組む



Q 6次産業化とは、1次産業者が、生産物のもとも持っている価値に、加工、販売までを行い収益を向上させることで、1次×2次×3次産業である。

計画は、1次2次3次業者それぞれの立場で集まる、足し算ではないか。

A 養殖業以外では、「多少量」であり、個人で6次化まで取り組むことは難しい面がある。

水産業振興協議会では、1次2次3次の連携による6次化に取り組む、水産業全体を捉え所得向上、漁協の経営改善に繋げていく。

◆メール配信サービスのさらなる充実を

Q メール配信サービスで、子どもに対する不審者情報や火災の発行情報を配信できないか。

A 不審者情報は、学校、保育所等の関係者のメール配信で情報提供してきしたが、一斉メール配信での情報提供も検討する。

火災発生などの緊急情報は、若狭消防管内全体での検討が必要である。

## Q 6次産業施設事業の今後の予定は

上尾 徳郎 議員

A 平成31年度建設工事、平成32年度6月オープンを目指す

Q 漁港施設や共同利用施設の整備事業の予定は。

A 7月に福井県との事業推進に向けた合意形成が図れた。来年度以降の事業実施に向け水産庁に対し、事業要望を行う予定。

Q 交付金事業の活用は。

A 漁港施設や漁協が管理する共同利用施設は、水産庁所管の「浜の活力再生交付金」の活用を計画。

6次産業施設は本年度、農林水産省所管の「農山漁村振興交付金」の新規事業採択を受け、実施設計業務を進めている。

Q 漁協の経営改善の取り組みは。

A 漁港再整備に係る福井県との合意形成において、漁協の経営改善への取り組みが重要な必須事項とされている。

漁協経営検討委員会を設置して財務改善計画書を策定し、(株)日本人材機構より必要な人材の派遣を受けて、課題整理から実行に向けた仕組みづくりに着手した。

県から、すぐに結果が出るほど簡単なものではないとの意見を貰っているが、課題に着実に取り組む体制づくりを進める。



6次産業施設北側(海)外観

## Q 高齢者肺炎球菌ワクチンの接種率向上ができないか

A 今後、ワクチン接種も戦略的に位置づける

井上 順也 議員



マンホールトイレ

◆自然災害、原子力災害時の対応充実について  
 Q 被災時の衛生対策や被災者の心身の健康確保のため、マンホールトイレの備えができないか。  
 A マンホールトイレの必要性、必要数を検討していく。

●PAZ  
 原子力施設から概ね半径5km圏内。放射性物質から放出される前の段階から避難を行う。

●UPZ  
 PAZの外側の概ね半径30km圏内。予防的な防護措置を含め、段階的に屋内退避、避難を行う。

◆自然災害、原子力災害時の対応充実について  
 Q 被災時の衛生対策や被災者の心身の健康確保のため、マンホールトイレの備えができないか。  
 A マンホールトイレの必要性、必要数を検討していく。

◆自然災害、原子力災害時の対応充実について  
 Q 被災時の衛生対策や被災者の心身の健康確保のため、マンホールトイレの備えができないか。  
 A マンホールトイレの必要性、必要数を検討していく。



三田西陵高校避難

## Q 町民の真の安全安心の観点から防犯カメラの設置実施を求む



山本 富夫 議員

A 補助事業を活用財源を確保し防犯カメラ設置を進める



防災カメラ

◆自然災害、原子力災害時の対応充実について  
 Q 被災時の衛生対策や被災者の心身の健康確保のため、マンホールトイレの備えができないか。  
 A マンホールトイレの必要性、必要数を検討していく。

◆自然災害、原子力災害時の対応充実について  
 Q 被災時の衛生対策や被災者の心身の健康確保のため、マンホールトイレの備えができないか。  
 A マンホールトイレの必要性、必要数を検討していく。



# Q 武力災害からの避難訓練について

**A** 学校の危機管理マニュアルにおいてミサイルの項目を追加

西野 朋宏 議員

**Q** 水道管のインフラ計画は、次年度以降は、海岸近くの腐食環境にあ

**A** 内閣府作成のガイドラインに基づき、非常時優先業務の整理とといった重要な6要素を定めていきたいと考えている。

**Q** 業務継続計画(BCCP)の進捗状況は。

**A** 平成29年度福井県・内閣府合同の国民保護共同訓練のJアラートの放送に合わせて、実際に身を守るための避難訓練を行った。

**弾道ミサイル落下時の行動について**

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを送るほか、緊急連絡メール等により緊急情報をお知らせします。

①速やかな避難行動  
②正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。

国民保護ポータルサイト  
武力攻撃やテロなどから身を守るために

本サイトに確認しておきましょう。  
http://www.kantei.go.jp/saijoh/kyoju/kyoju.html

ミサイル落下時には、こちらから適切な対応方法を案内いたします。

広報官邸 ホームページ  
www.kantei.go.jp

Twitterアカウント  
@Kantei\_Saigai

**Jアラート** 弾道ミサイル落下時、直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難してください。ミサイルが落下するものとみられます。直ちに避難してください。

メッセージが流れたら  
落ち着いて、直ちに行動してください。

- 屋外にいる場合: 近くの建物の中か地下に避難。
- 建物がない場合: 物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。
- 屋内にいる場合: 窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

近くにミサイル落下!

●屋外にいる場合: 口と鼻をハンカチで覆い、隙風から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。  
●屋内にいる場合: 換気扇を止め、窓を閉め、目盛りを止めて室内を避難する。

ミサイル落下時の行動



# Q 国民健康保険税について

**A** 社会保障制度は国の責任

渡邊 孝 議員

が、今後、原発は必要と情勢に変化があれば国策に従う。

延長稼働はないと思うが、必要と情勢に変化があれば国策に従う。

**A** 7月に策定された「第5次エネルギー基本計画」では、原発は可能な限り依存度低減とされた。

**Q** 原子力発電続けるか  
**Q** 最大60年の寿命がきたあとも、町長は原発の存続を望まれるか。

またそのために国、県電力会社に働きかけられるのか

**A** 「均等割」を減額すれば他の被保険者の負担につながる。

**Q** 国民健康保険税の、家族の人数に応じて保険税が増える「被保険者均等割」は他の健康保険にはなく、特に多子世帯に過度な負担となっている。



## Q ワールドマスタースゲームズ2021 関西大会に向けた対応を問う



A 一過性で終わらせず今後の  
インバウンド観光の推進に結び付ける 小幡 憲仁 議員



写真提供：ワールドマスタースゲームズ2021関西組織委員会  
ワールドマスタースゲームズ誘致決定を発表する西川知事と野瀬町長

**A** 通学路の安全対策を進めるとともに、学校備品等の耐震について文科省のガイドブックに基づき有資格者が町内各学校を点検し報告書を作成しており報告に基づき対策する。子どもの暑さ対策についても無理な活動をさせないよう十分配慮する。

**A** ワールドマスタースゲームズの誘致は国内のみならず世界の国々に高浜の海を発信できる。今後のインバウンド観

**Q** 2021年に開催されるワールドマスタースゲームズ関西大会においてライフセービング競技を若狭和田ビーチで開催することが決定した。

◆子どもの安全対策について

**Q** ブロック塀の倒壊による女児の死亡事故や校外学習から戻った男児が熱中症で死亡するなど子どもの安全を脅かす事故が相次いだ。通学路の安全確保や学校設備の耐震補強、子どもの暑さ対策などの取り組みを問う。

光推進の絶好の機会と捉え、大会開催の効果が十分表れるよう諸準備を進める。

# 高浜町議会

12月  
定例会

- 町民の皆様の議会傍聴大歓迎です！事前予約は不要です。
- 受付は会議当日議会事務局で行っております。
- 次回定例会は12月です。お待ちしております。



ぜひ議会  
傍聴に  
お越し  
ください！

お問い合わせ 高浜町議会事務局 ☎0770(72)7710  
<http://www.town.takahama.fukui.jp/index.html>

どなたでもご参加いただけます！皆様のご参加をお待ちしております！



# 平成29年度決算認定 歳出 118億4,529万4,463円

## 予算決算

### 常任委員会報告

委員長 上尾 徳郎

◇9月10日(月)・11日(火)

#### ●議案第48号

#### ■平成30年度一般会計補正予算(第2号)

予算補正額の歳入歳出それぞれ1億3256万円を追加し、歳入歳出それぞれ114億269万1千円とする。

#### 【総務費】

#### ◎バイオエコロジィ構想実現可能性調査・基本計画策定事業

…1154万3千円

事業の概要、取り組みの根拠、広域や全国での取り組み状況、用地の候補地はあ

#### るのか。

バイオマス資源をY.M菌による発酵システムによる堆肥化の事業構想の実現可能性の調査。

下水汚泥の堆肥化は努力義務が法律で定められていて、後期実施計画に掲載している。

広域での話はしていない。全国では10市町以上と認識している。用地は計画の中で検討。

#### 【民生費】

#### ◎障害児給付事業

…1061万5千円

NPO「おひさま」の新規事業、放課後デイサービス(11名登録)への通所・相談支援給付。

#### 【衛生費】

#### ◎地域医療推進事業、補助金

…4257万5千円

若狭高浜病院への機器の更新補助事業は29年度から3カ年で上限額1千万円と聞いているが。

人工透析機器の更新で、昨年度は水処理の機器を更新、今年度は来年度分を含めて一括整備を計画されたが、病院側の持ち出しが多額となる為に上限額を撤廃して、今年度当初予算の1千万円と今回の事業費の3分の2相当額を合わせて補助する。

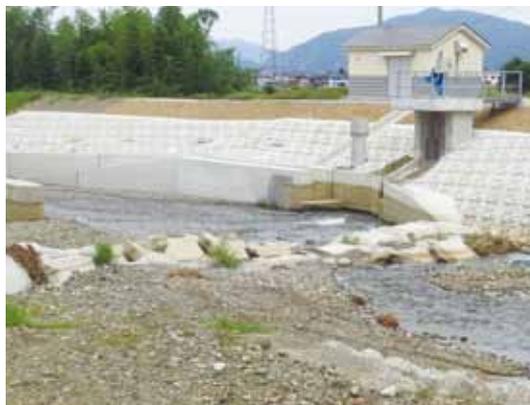
#### 【災害復旧費】

#### ◎農業用施設災害復旧工事

…2千万円

復旧工事は状況を検証し、強度をもった施工をすべきである。

関屋側の東三松と日置の農業用水取水の頭首工で、7月に被災し今回は護床ブロックが浮き上がった。県と再発防止の協議をしたい。



関屋川の三松頭首工

#### ■平成29年度高浜町一般会計歳入歳出決算認定(第1号)

歳入総額125億8101万8507円、歳出総額118億4529万4463円の差引額7億3572万4044円の黒字。

翌年度へ繰り越すべき一般財源を差し引いた実質収支額は4億1872万7163円の黒字。

#### 【総務費】

人材育成で子育て世代の女性の就職に向けた資格取得の支援を。

必要な分野に絞った第2段の人材育成事業を検討中である。

#### 【地域おこし協力隊の現状は。

29年度2名30年度3名が活動中。

イターン移住されたのは1名。

#### 【オンデマンドバスの運行計画は。

フリーバス制度や周遊バスの検討を始めた。

広域でのバス運行と交通手段の確保は、近隣の関連市町による「公共交通会議」での協議・検討は今後、可能と考える。



オンデマンドバス

#### 【民生費】

障がい者雇用支援の状況は。

高浜町リサイクルセンターに7名。

近隣の雇用型のA型就労継続支援事業所に11名、非雇用型のB型就労支援事業所に11名、就労移行支援での訓練が5名。

### 【衛生費】

地域医療推進事業の地域プライマリ・ケア講座と高浜病院の補助金について、成果と今後は。

寄付講座は始まって10年になる。定着して頂いた医師もおられ、福井大学より高浜病院への医師の派遣もされている、今年から3年間の債務負担行為の承認により継続する。

高浜病院へは直接に支援は出来ないで、医療機器の更新など補助金にて支援している。

今後、町・病院・大学・JCHOの連携による地域医療のモデルとなる様な取り組みを目指したい。

### 【農林水産業費】

薬草産地化推進事業の現在の取り組み状況は。

29年度ゴシユを初出荷。試験栽培地も増えて、多くの品種の試験栽培を行っている。

育苗センターでは苗の育苗や栽培品の乾燥などの事業を進めている。情報発信に努め視察も増えている。

販路の拡大に努めるとともに、事業

後継の人材育成が課題である。



薬草育苗センター

### 【商工費】

ブルーフラッグアカデミーの活動状況は。

事業継続には地域を原則に観光協会を母体に海浜組合、学校などを含めた部会をつくり、観光協会職員と協力隊員の2名が旧神谷邸を事務所運営に従事。

ブルーカフェがテナントで入っている。

情報発信が進み、視察も多く認証取得まで進んでいる所も出ている。

視点場整備計画の再検討は出来るか。浜茶屋印象改修の状況は。

監視や救護機能も含め、ワールドマスターズを見据えた考え方など、協議

会での検討は可能と思う。

29年度は6軒の浜茶屋が改修。

●海浜整備がブルーフラッグ事業で和田地区に偏りすぎではないかとの意見が委員からあった。



視点場イメージ

### 【土木費】

柿ヶ渡線新設工事の法面の補強は。

地盤の法面補強計画は設計に盛り込み、想定外の事があれば随時補強方法を検討していく。

■和田・横断5号線新設事業の進捗状況は。

用地測量も終わり、今年度は用地買収に向けた説明会を開き、個別交渉の予定。

国、県、公安委員会の承認も得ている。

用地買収が進めば平成32年度の完成計画。

### 【教育費】

高浜中学校、中央球場のフェンス、防砂ネットの設置は。

中学校は防球フェンスと防砂ネットを組み合わせて工事をした。

中央球場の状況も承知しており、フェンスを高くして防砂ネットを張るには強度の確認など、建設整備課とも協議・検討していく。



高中グラウンドフェンス



横断5号線国道進入予定地

# 介護保険制度改正

## 厚生文教

### 常任委員会報告

委員長 廣瀬 とし子

◇ 9月14日(金)

#### ●議案第49号

■平成30年度高浜町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

平成30年度国民健康保険事業所納付金の本算定に伴う増額分の補正である。

#### ●議案第50号

■平成30年度高浜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

保険料の過年度還付金の不足が見込まれ増額補正である。

昨年度の後期高齢者保険料について

て、特に保険料還付金の審議を重点的にを行い、住民への迅速な対応が必要である。

#### ◇特別徴収について

納期は4・6・8・12・2月で、年金の支給月に天引する。

#### ◇保険料の算定について

前年の所得が不明なため、4・6・8月納期の方を4月に前年2月期の保険料を基に計算する「仮算定」と、7月に確定した前年の所得を基に1年分の保険料を計算する「本算定」がある。

#### ●議案第51号

■平成30年度高浜町介護保険特別会計補正予算(第1号)

人員移動に伴う地域包括支援センター職員の人件費の増額や、平成29年度分の介護給付費と地域支援事業にかかる国庫負担金等確定したことに伴い、国、県等への返還金をそれぞれ補正計上である。

#### ●認定第2号

■平成29年度高浜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

歳出の主なものとしては、保険給付費や、共同事業拠出金、後期高齢者支援金である。

#### ●認定第3号

■平成29年度高浜町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定

育児休業中であつた看護師が職務に復帰したことにより、人件費が増加した主な理由である。

#### ●認定第4号

■平成29年度高浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金である。歳出全体の97・4%を占めている。

特に保険料還付金の適切な処理を嚴重にし、住民の利益を損なうことのないよう強く求める。

#### ●認定第5号

■平成29年度高浜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定

本年度に介護保険制度改正に伴うシステム改善があつたこと、また認定調査会共同設置負担金として若狭広域行政事務組合負担金が新たに発生したことが主な理由である。

#### ●議案第52号

■高浜町営体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

体育施設の開業時間及び休業日について(月曜日の休館)

今回の改正、規則に変えた時点、祝日については、体育施設もあけていく。月曜日の休館も検討する。

#### ◆視察報告

◇ 9月14日(金)

#### 児童デイサービス

#### 「おひさまハウス」

● 目的施設の見学及び利用状況  
各事業の現状の説明  
児童デイサービスは、1日6〜10名程度の利用で2〜3名のスタッフが対応をしている。課題は

- ・成人期の事業
- ・生活介護事業
- ・ポート会館の老朽化
- ・老朽化が目立つ
- ・階段のタイルの破損
- ・手すりの破損等



おひさまハウス内部の様子



グループに分かれて意見交換

## 議員と語ろう会

### 厚生文教常任委員会のメンバーを中心に実施しました

日時：7月3日(火)午前9時30分～11時  
 場所：高浜小学校  
 テーマ：学校給食、英語授業、居場所について  
 参加者：高浜小学校6年生(56名)  
 厚生文教常任委員(7名)  
 廣瀬委員長、井上副委員長、児玉委員、  
 釣本委員、上尾委員、小幡委員、渡辺委員

7グループに分かれ、あらかじめ用意していたテーマで意見交換を図る

- ① 学校給食について
- ② 英語授業について
- ③ 居場所について

#### 【① 学校給食について】

- ・おいしい、量が多い自分で選べる。
- ・パン食が月1回で、回数を増やしてほしい。
- ・デザートの種類を多くしてほしい。
- ・牛乳に粉を入れて飲むのが楽しい。
- ・ビンではなく、パックがいい。
- ・給食の食器(お皿)に仕切りがない食材の汁が他の食材と混じって不快。
- ・仕切りのついた皿にできないか。
- ・揚げパンは年に1回ほどなので回数を増やしてほしい。
- ・バイキング方式の給食もあれば嬉しい。
- ・夏の場合、熱中症対策としてお茶やスポーツドリンクが飲めれば嬉しい。
- ・アレルギー体質の子への食材も配慮されている。
- ・ごはんの器が重なっているとかくっついてとれない時がある。

#### 【② 英語授業について】

- ・授業は楽しいしわかりやすい。
- ・英語塾(スクール)に通っている子が4/7人

- ・塾に通っている子の中で、授業が優しすぎてつまらない。
- ・先生の会話のスピードが速くて困る。
- ・ゲーム感覚や映画を取り入れて興味を持てる様にしてほしい。

#### 【③ 居場所について】

- ・児童センターはほとんど利用しない。
- ・古いし、中学生が来ている。
- ・公民館の多目的ホールで卓球をしたり、和室で遊ぶ。
- ・広い遊び場がほしい。
- ・高齢者、赤ちゃんとふれあう機会がほしい。
- ・中央図書館の利用が多い。仕切りの机を増やしてほしい。

#### 【意見交換(その他)】

- ・城山公園に遊具を置いてもっと整備してほしい。
- ・陸上が出来る設備やスポーツ店がほしい。
- ・楽しいイベントがあると良い。
- ・室内プールを増やしてほしい。
- ・高浜の特産品開発に力を入れるべき
- ・学校の授業でもっとタブレットを活用できるような台数を増やしてほしい
- ・遠い地区はバスがほしい。
- ・通学路の街灯が少ない。
- ・子ども食堂は良い
- ・(親が働きに出ている。種類が多い)



高浜小学校6年生の皆さんと

#### ◆語ろう会を終えて…

あらかじめ用意していたテーマや多岐にわたる分野まで、活発で自由な発想の意見が出され、これからの高浜町を真剣に考える時間となった。

# 雨水調整池汐入2号 供用開始後の一定効果確認

## 総務産業

### 常任委員会報告

委員長 山本 富夫

◇9月13日(木)

#### ●請願第1号

白色申告から青色申告へと記帳する行為は同じで青色は経費の内訳も明確であり、青色申告で対応するほうが全般に有利な点が多いのではないかと、請願には反対である。

#### ●陳情第4号

7つの地方財政には欠かすことのできない課題、問題点をとらえ地方財政の充実強化を図るうえで重要である。

【本会議で請願採択】

#### ●陳情第5号

パートタイムの会計年度任用職員については、期末手当はあるが、退職手当はない。高浜町としては改正に向けた準備も進めており31年度に条例改正して32年度4月より実施に向けた準備をしている考えが示された。

【採決・趣旨採択】

#### ●認定第6号

内浦方面は中山間地域で、豪雨、地震等災害はある程度想定されているのか。課内研修を設けて、過去の事例から危機管理研修をして、事例に基づきあらゆる対応を課内で共有している。

#### ●認定第7号

マンホールの中に異物混入で、空き缶、コウモリ傘が入っていることもあり汚水管の損傷がないか注意深く監視をしているとの回答。

#### ●認定第8号

三松集落排水が公共下水道に接続されたが青郷地区集落排水を公共下水道に接続する計画はあるのかの質疑に対し、青郷地区集落排水処理施設は設置も新しく、災害時の代替機能として対応する施設として考えているとの考えが示された。

#### ●認定第9号

29年度で残19区画で30年度1区画は売却済み、交渉を含めて協議しているのが2件という状況。

行政区としての方向性に進展はあるのか。の問いに、高浜地区区長会からの要請もあり、子供たちの行事、来年の七年祭りの参加に子生区とも話があるようだが未定。集会所建設も区内の総意に至っておらず役場からもいろんな提案をしていく中で子生区、坂田区とも連携しながら方向性を決めていきたいとの回答があった。

#### ●認定第10号

水道法の一部を改正する法律案で水道の民営化の話が今国会で審議されているがどうか。

高浜町は高浜町として水道事業を守り続けていきたい。

県からの指導、国からの指導が現実的に起こるのかどうか、今の時点では考えにくい、そういった状況になったときには、議会と相談しながら高浜町の方針を決めていきたい。

#### ◆視察報告

①雨水調整池(汐入2号)完成状況確認。駅前周辺の降雨時冠水対策の施設状況で一定の効果を確認。

②三松地区の下水の切り替え状況現地確認。30年5月より公共下水道に切り替えた東三松地区内農道に設置された状況を確認。トラブル時には元三松処理施設に一時保管も想定した対応策で

あることも確認。

③町内の監視カメラ及びその性能確認と防犯カメラの設置状況確認。

町内に設置してある監視カメラは主に降雨災害時の監視が主である。新たに防犯カメラとしての役割等について現地と現在のモニタリング状況を確認した。



郷土資料館 駐車場



三松地区下水切り替え状況確認

# 新規企業誘致を探る

## 人口減少問題対策調査

### 特別委員会報告

委員長 井上 順也

◇9月18日(火)

#### 1. 企業誘致戦略に関する講演

電源地域振興センターの桶谷客員研究員より、「サテライトオフィス型企業誘致に向けて」と題して講演を聞いた。

【雇用環境の課題】女性や若者の参画、多様で安定的、高浜ならではのライフスタイルを活かした労働、雇用環境作りが必要。

【企業誘致の方向性】働き方改革の中で、在宅勤務やモバイルワークなどのテレワーク(企業本社などから離れた

#### サテライトオフィスの事例(徳島県美波町)

設置の考え方	<p>1. 地元起業の場合⇒地域活性化がねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活性化に係る各種プロデュース事業の展開</li> <li>・地元企業の情報発信</li> </ul> <p>2. 進出企業の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスチャンスの創出               <ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革に取り組む企業ニーズの先取り(不動産)</li> <li>・空き家の改修・まちづくり(建築)</li> </ul> </li> <li>・技術・製品開発、イノベーション               <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の社会課題に対応した製品開発、他地域への波及</li> <li>・サテライトオフィス開設企業やベンチャー企業との共同開発</li> <li>・デザイナーの感性の刺激</li> </ul> </li> <li>・人材確保(競争が激化する東京から地方へ)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て主婦等の人材活用</li> </ul> </li> </ul>
自治体等の支援	<p>1. 徳島県</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとクリエイティブ・SOHO事業者誘致事業補助金</li> <li>⇒事務機器・通信回線使用料・不動産賃借料の補助、地元雇員助成</li> <li>・高速通信インフラ(光ファイバー網)の整備</li> </ul> <p>2. 美波町</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定住促進に係る住居改修費用の補助</li> <li>・小規模事業起業支援制度(人件費、旅費、家賃等の補助)</li> </ul>

ところで働く柔軟な労働形態)としてサテライトオフィスによる企業誘致を進めている先行市町があり期待できる。

サテライトオフィスを誘致した徳島県美波町がなぜ成功しているのか。

民間の伝い手を介すこと、人脈があること、キーマンをすすえることも重要。

将来、高浜町民になる、規模の大きい

企業誘致に努力してほしい。

鯖江市のような柔軟さが大事。何十年後には町民になることを目指してほしい。

どうしたらマイナス面を成功に導けるか。

小さくても成功事例を作ること。

2. 次年度人口減少問題対策の要望・提言について

求人、求職者のミスマッチが発生している。外国人労働者の採用をどう考えるか。(理事者側の問い)

時代の流れ、受け入れる型を作る。医療部門も人手不足、しっかりとした教育をすれば大丈夫。一次産業に外国人労働者を入れる事も大事。急激な受け入れは、よくない。環境面、防犯面を考えた上で受け入れても良いのでは。

民間のごども園建設の進捗は。

11月に募集開始予定。建設遅れないよう、しっかり指導していく。

観光客の宿泊場所がないのでは。

地元商工会、観光協会との話し合いのテーマである。

民宿では、発電所のお客さんを入れて生活が潤っている。宿泊施設については、民宿の現状をしっかりと把握し、検討してほしい。

高浜町以外に宿泊者が流れていることも掘んでいる。それを確保するのも行政の施策である。

七年祭りの継承を進めてほしい。

今後、学校でも地域での伝統文化を継承していく下地作りをしていく。

学校で子供たちに、地元での起業や幅広い職業について指導ができないか。学校では、全てにわたって教えていくことは難しい。自分で学ぶ力をつけるのが学校である。

高浜町の情報について、成人式などでは、町出身者の方にも情報が入るが、県人会など他の年代の方にも発信できないか。

町出身者の方の住所情報が入らない。

何らかの手法を考えていきたい。

# サル被害の増加は人間の責任?! サル被害対策報告及び視察

## 鳥獣害対策

### 特別委員会報告

委員長 西野 朋宏

◇9月18日(火)

#### ●サル被害対策進捗状況報告

委員会は9月18日(火)、現在町内で確認されているサルの群れの状況や、その群れ毎に実施している被害対策の現状報告を産業振興課及び委託業者より受けた。

報告では、町内に現在9群以上のサルの群れが確認されており、このサルの群れの数は全国的に見ても非常に多いという事や、群れによってはサルが人間を全く警戒せず、農地に被害を及ぼす個体群が存在する事が確認されて



大型捕獲檻視察の様子(中山区)

いる。しかし、ここまでの数のサルの群れが町内に生息する原因は山の荒廃だけではない。水田の二番穂の放置や、カキやクリといった果樹木が放置され、それがサルの十分なエサとなり個体数の増加につながっているという。

町ではその対策として、昨年度から実施している集落毎の放置果樹等の点検結果を踏まえ、今年度より本格的な対策の実施を検討しており、その前段階として中山区においてモデル的に対策の実施を予定している。

また、委員会は同日、現地視察として中山区に設置されている大型捕獲檻(平成28年度設置)と、中山区に設置されている移動組立式大型捕獲檻(平成29年度設置)の現場視察を実施した。

# 第183回若狭消防組合 議会臨時会

## 若狭消防組合

組合議員 西野 朋宏

◇7月4日(水)

若狭消防組合 松崎晃治管理者より  
議案2件が上程

#### ●議案第1号

##### ◆財産の取得について

(消防ポンプ自動車CD-I型)

去る平成30年6月13日に、指名競争入札を行い相手業者と仮契約までの手続きを完了。

議会の議決に付すべき契約および財産の取得または処分に関する条例第二条の規定に基づき、議会の議決により、

本契約とするもの。



ポンプ車

【全員賛成で可決】

#### ●議案第2号

##### ◆財産の取得について

(災害対応特殊救急自動車)  
去る平成30年6月13日に、指名競争入札を行い相手業者と仮契約までの手続きを完了。

議会の議決に付すべき契約および財産の取得または処分に関する条例第二条の規定に基づき、議会の議決により、本契約とするもの。

【全員賛成で可決】



救急車

# 高浜発電所4号機定検時の不具合対策について議論

## 原子力対策

### 特別委員会報告

委員長 山本 富夫

◆ 9月19日(水)  
● 高浜発電所の現状について  
宮田高浜発電所長から4号機のトラブルの報告があった。

①タービン動補助給水ポンプの運転上の制限の逸脱については、制御油系統の油供給接手部からの漏洩でパッキンの損傷を確認し新品パッキンを取替後、制御油系統の配管ホース継ぎ手부를接続する袋ナットの締め付けに関する具体的な方法及び注意事項について、作業手順書に反映して再発防止を

徹底したとの回答があった。

②原子炉容器上蓋の温度計接続部からの蒸気漏れについては、養生テープに付着した何らかの微小な異物がコラムとフランジの隙間に混入し一次冷却材の温度上昇で上記の漏洩が起きたと推定。パッキンを新品に取替え、養生テープの表面を清掃することを作業手順書に追記し異物混入防止の更なる徹底を図る考えが示された。

③3号機の蒸気発生器伝熱管の過流探傷検査の原因と対策については、原因の徹底した確認・調査と、対策として閉止栓を行うことを確認した。

④協力会社作業員の計画線量超過については、基本ルールを守らなかったことが原因であることから、再発防止に向けた対策を確実にこなうよう委員からも強い指摘がなされた。



避難訓練の様子

## 協力会社作業員の計画線量超過について

**発生場所**

原子炉格納容器平面図 (上から見た図)

発生場所 (Aループ室)

拡大

**(原因)**

- 作業場所が高線量区域であることから、エアラインマスク等を着用して作業を行っており、同マスク着用時は、警報付きデジタル線量計(ADD)警報音が聞き取りづらくなるため、イヤホンを使用することになっていたが、ADDの警報線量に達する作業でないと考え、イヤホンを使用していなかった。
- 放射線管理専任者が当該作業員の作業内容を十分考慮せずに作業時間を設定したためと推定。

**(対策)**

- エアラインマスク等の着用の際には、イヤホンを使用することを周知徹底するとともに、作業前に着用していることを放射線管理者専任者が確認する。
- 放射線被ばくに関する時間管理を要する作業については、作業開始前までに作業時間の妥当性について放射線管理専任者が確認するとともに、その内容について当社社員が確認する。

**作業状況**

グリーンハウス内での作業風景

当該弁

配管養生シート

当該作業員

エアラインマスク専用のイメージ

- 当該作業員はグリーンハウス内において、当日の午後、約3時間10分、1次系大型弁から約0.5m離れた位置で分解点検を実施していた。
- 作業終了後、作業計画線量値の0.90mSvを超える1.81mSvの線量を確認した。
- 当該作業員の年度線量は、法令で定める年度線量限度(年間50mSv)を超過しておらず、内部被ばくや皮膚の汚染もありません。

グリーンハウス\*内にて弁の点検作業を実施

\*原子炉施設内などで放射能汚染した機器や装置の分解・点検・補修などの作業を行うときに、汚染を他の区域に広げないように設置する柱立式の部屋

◀次ページに続く

## 原子力 対策 視察報告

### 九州電力(株)

#### 薩摩川内原子力発電所視察

◇6月27日(水)～29日(金)

関西電力と同じPWR(軽水炉)である同発電所は、新規制基準に基づいた対策工事が急ピッチで進められている。

薩摩川内周辺は火山帯や活断層といった地震対策には万全の対策がなされていた。

原子力発電サイトの安全対策として、冷却手段の多様化、電源供給手段の多様化、水素爆発防止対策、放射性物質の拡散抑制対策、緊急時対策所の設置など安全指針は素晴らしいものであった。

### ◆阿久根市との意見交換

原子力災害(U P Z圏内)時における隣接市の課題と対策など阿久根市議会と原子力発電準立地自治体としての原子力に対する考え方を聞く機会を得ることができた。

基本的には、原子力発電に対して反対ではないがもろ手をあげて賛成ではないとの意見が多くあった。特に、立地並みの再稼働判断を我々もすべき意

見があった。

さらに、原子力立地対策交付金に対する立地と準立地の格差に対する不満がある。

さらに、使用済み燃料の保管について乾式貯蔵でサイト内に置くのかの意見に対し、国策で進められた原子力エネルギーを生産供給する立場で立地した経緯があり立地が進んで進めるべきでなく国が立地に対してお伺い立てるのが筋であるとの回答をした。

大都市圏への電力供給に貢献してきた立場はしっかりと理解してもらいたいと国のエネルギー政策は問題である。



川内原子力発電所視察

### 九州電力(株)

#### 大牟田メガソーラー発電所視察

ご当地大牟田市は、かつて石炭産業として日本のエネルギー資源を生み出してきた歴史がある。

今回見学したメガソーラーは、廃止した石炭火力発電所の跡地利用で設置された発電所であった。太陽光発電は、原子力発電、風力発電等と同じくCO<sub>2</sub>を排出しないクリーンな発電方式で、メガソーラー大牟田発電所のCO<sub>2</sub>排出抑制効果は年間約1200トンになるようである。

九州各地ではご当地発電所を含め低炭素社会の実現に向けた取組みが多くなされていることを確認することができた。



阿久根市議会との意見交換



風力発電視察



大牟田メガソーラー

# 平成29年度決算監査結果報告

代表監査委員 松本 有策 監査委員 横田 則孝

## ■一般会計の決算概要について

●歳入総額125億8101万円  
8507円(対前年度比16・1%減)

新庁舎公民館建設や中央体育館改築などの大規模プロジェクトが終了したため、昨年度より歳入歳出ともに大幅に減少した。

個人町民税が3.2%増加し、法人分も原子力発電所関連工事などによる企業収益の改善で、42・5%増加した。固定資産税につきましても、昨年度同様、発電所の大規模償却資産の増加などにより8.0%増加している。

普通交付税は昨年度に引き続き不交付団体となり、ゼロであった。

県支出金は31億4362万9193円であり、原子力発電所3・4号機の再稼働に伴う補助金4億7634万4千円が新たに交付された事や、核燃料税交付金の増加等によって昨年度比53・3%の増額となった。

●歳出総額118億4529万4463円であり、昨年度比19・2%の減少

総務費では、新庁舎公民館建設事業が昨年度終了したため、昨年度比50・7%減少の20億6516万4838円

となった。

●歳入不用途は4億5045万5403円であった。

削減の努力の結果とも言えるが予算が過大であった可能性もあり、予算編成には一層の厳密さを求める。

## ■特別会計の決算概要について

●歳入総額37億1710万8703円  
(対前年比歳入11・7%、歳出12・2%それぞれ減少)

国民健康保険特別会計では被保険者の減少したことで、歳入は前年度比4.3%減少し、また受診者件数の減少と一人あたり医療費の減少で保険給付費が減少し、歳出も5.8%減少した

単年度収支は1978万2035円の赤字であった。

## ■基金の状況

基金は、新たに「高浜町立保育所整備基金」と「町道柿ヶ渡線整備基金」を設置し、財政調整基金の増額等で合計9億6447万9809円の積み増しを行い、今年度末の合計額は、48億4456万9027円となり、昨年度に比べ約2億6400万円増加した。

## ■地方債の状況

地方債は、今年度、元利合わせて8億3万4720円の償還を行ったが、年度末の未償還元金は、99億2773万5339円とお高レベルであり、今後の後期実施計画のための新たな起債については十分な検討を期待する。

## ■町財政全般の状況

町財政全般については、国庫支出金の増加によって自主財源比率が前年度から27ポイント低下し47・8%となっており、財政の自由度を示す経常収支比率についても、89・9%と1.8ポイント悪化した。

町の財政力を示す指標である財政力指数は、3カ年平均で1・021と0・039ポイント上昇した。財政健全化比率、実質赤字比率、実質公債費率のいずれも正常範囲の数値であるが、将来負担比率が9.9ポイントに増加している。町の負債が増加したことを意味しており、今後の財政運営についてはこの点に十分留意し、規律維持に努めていただきたい。

## ■工事監査・出納検査の状況

工事監査は、和田公民館改築工事、高浜町子育て世代包括支援センター改修工事、葉草栽培ハウス建設工事の3件につき書類審査及び現地確認を実施し、いずれも適切十分な施工がなされていることを確認した。

出納検査では、現金残高の実査ならびに口座残高の確認を徹底するとともに、支払書類等の照合を詳細に行い、適正に執行されているかを確認した。

## ■むすび

平成29年度は高浜町総合計画後期実施計画の2年目で、前期計画による各種の基盤整備を受けて、より人と暮らしに寄り添った事業が実施された。後期実施計画は、ほぼ計画通りの進捗をみたと考えられる。今後も計画に沿って持続可能な地域づくりを進めて頂きたい。

先般、国の「エネルギー基本計画」が閣議決定されたが原子力発電所の新設やリプレースについての言及が全くなかった。原子力発電を基幹産業とする高浜町の将来も不透明感が漂っていると言わざるを得ない。

原子力発電所への依存度を下げてください。高浜町は生き残っていくのか、その戦略を強化すべき時ではないか。幸い、発電所の諸安全対策工事により、再来年度から数年間は町税収入が増加するとみられており、その間を活用して、財政の規律向上や強靱化、観光資源の高度化、農漁業の振興、さらに中核となる人材育成を推進して、高浜町の「その先」に向けた態勢づくりをスピードアップされるよう期待する。

# 議員と語るう会

議員と語るう会は、毎回テーマを設け各委員会メンバーを中心に開催しています！  
 今まで同様、各会場参加自由です。  
 皆様のご意見&ご参加お待ちしております！

● 人口減少問題対策調査特別委員主体

今回のテーマ  
**「人口減少問題対策と観光振興」**

**11月6日(火)19:30~21:00**

● 高浜公民館2階 会議室  
 井上委員長、大塚副委員長、児玉委員、釣本委員、  
 上尾委員、廣瀬委員、小幡委員 他



● 総務産業常任委員主体

今回のテーマ  
**「高浜町における防災対策と防犯対策」**

**11月19日(月)19:30~21:00**

● 高浜公民館2階 会議室  
 山本委員長、西野副委員長、大塚委員、井ノ元委員、  
 磯部委員、横田委員、栗野委員 他

● 厚生文教委員会主体の議員と語るう会は11月中旬に開催予定です！  
 詳細はHPにて改めて掲載します。お楽しみに！



## 福井国体開会式&閉会式に参加してきました!!



## 編集後記

今年の夏は、全国記録的な猛暑に見舞われ、豪雨や台風、また地震などの自然災害も発生し、異常ともいえる事象が頻発した夏となりました。高浜町においても原子力防災訓練が行われ、日ごろの備えの大切さが身に沁みます。

秋も深まり、過ごしやすい気候になって参り、高浜町議会では9月定例会が開かれました。ワールドマスターズゲームズ2021関西などの新規の予算案件、決算認定などを含む20議案が慎重審議されました。議会はもちろん、各委員会において、さまざまな意見が飛び交い、よりよい高浜町の為議論がなされました。議会だよりにおきましても、それらをお伝えするため、手に取って頂けるよう、見やすさをモットーに精進してまいりますので、どうぞご愛読ください。

(児玉千明)

### 広報特別委員会

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 児玉 千明  |
| 副委員長 | 井上 順也  |
| 委員   | 横田 則孝  |
|      | 井ノ元 康夫 |
|      | 釣本 音次  |
|      | 西野 朋宏  |

